

藤女子大学キリスト教文化研究所 2011 年度活動報告

1. 第 13 回公開講演会

10 月 1 日 (土) 15:00—16:30 於: 北 16 条キャンパス (755・756 講義室)
大稔哲也氏 (東京大学大学院准教授) 「エジプトを生きるイスラーム教徒とキリスト教徒」

2. 研究例会

7 月 23 日 (土) 「トマス・アクィナスの友愛論研究序説 — 自己と他者の くはざま —」 松村良祐 (所員)

3 月 17 日 (土) 「CMS 宣教師ジョン・バチェラーが遺したもの」 下田尊久 (所員)

3. 『紀要』第 12 号刊行

講演: 歴史における科学とキリスト教 村上陽一郎

論文: ルツ記の研究 — 1 章 8 ~ 17 節 — 柊 暁生

翻訳: 『コリント信徒のみなさんへ 第一』私訳(II) — 承前 — 阿部 包

『リモージュ司教にしてガリアの使徒である聖マルシアルの伝記』
(XXI-XXVII) 試訳 渡邊 浩

書評: Malcolm D. Lambert, *Medieval Heresy: Popular movements from Bogomil to Hus*, 1st edition: New York, 1977; Id., *Medieval Heresy: Popular movements from the Gregorian Reform to the Reformation*, 2nd edition: Oxford, 1992, 3rd edition: Oxford, 2002. 草生久嗣

4. 公開講座

「パイプオルガンに親しむ」大野敦子氏 (カトリック北一条教会オルガニスト)

第 1 回 6 月 18 日 (土) 「パイプオルガンとは?」

第 2 回 6 月 25 日 (土) 「オルガニストとその時代」

以上, 北 16 条キャンパスで開催。

第 3 回 7 月 2 日 (土) 北一条教会 第 10 回カテドラルコンサート「トランペットとオルガンの響き」を観賞。コンサート後にオルガン見学。